



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッキ

コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 和田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,528	7.7	541	49.9	719	61.3	487	40.3
26年3月期第3四半期	6,988	14.7	361	△20.0	446	△8.0	347	△34.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 749百万円 (25.9%) 26年3月期第3四半期 594百万円 (△8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	52.06	—
26年3月期第3四半期	37.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第3四半期	13,921	—	5,942	—	42.1	625.18
26年3月期	12,816	—	5,334	—	40.7	556.17

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,859百万円 26年3月期 5,213百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.0	820	40.7	800	32.2	530	0.3	56.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	10,000,000 株	26年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	627,712 株	26年3月期	626,702 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,372,910 株	26年3月期3Q	9,374,081 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げや円安による輸入原材料の価格上昇等の影響があったものの、政府・日銀の経済・金融政策の効果を下支えとして、企業収益や雇用情勢に改善傾向が見られました。一方、海外経済は、米国では総じて緩やかな景気拡大が続いているものの、欧州や一部新興国においては回復が遅れ、さらには、地政学的リスクの高まりや原油価格の下落等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、ガス機器部門と汎用機器部門の販売が堅調に推移し、連結売上高は75億2千8百万円（前年同期比7.7%増加）となりました。

損益につきましては、売上高の増加や汎用機器部門の採算性の改善等により、営業利益は5億4千1百万円（同49.9%増加）、経常利益は7億1千9百万円（同61.3%増加）、四半期純利益は4億8千7百万円（同40.3%増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車機器事業は自動車用気化器等の販売が減少し、売上高は5億9千8百万円（同10.3%減少）、セグメント利益は5千7百万円（同20.7%減少）となりました。

ガス機器事業は韓国向けや新興国向けの販売は前年を下回ったものの、受託開発売上増加等により、売上高は34億円（同4.4%増加）、セグメント利益は1億7千3百万円（同33.8%増加）となりました。

汎用機器事業は主要マーケットである北米向け販売が堅調に推移したことにより、売上高は58億7千万円（同29.8%増加）、セグメント利益は6千7百万円（前年同期は1億8千6百万円の損失）となり、特に収益面で大きく改善いたしました。

不動産賃貸事業は売上高4億1千3百万円（同0.3%増加）、セグメント利益は固定資産税負担増加等により3億4千4百万円（同7.4%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は139億2千1百万円と、前連結会計年度末と比べて11億5百万円増加しました。主な増減項目は、投資有価証券の増加（4億1千2百万円）、機械装置及び運搬具の増加（3億9千6百万円）、仕掛品の増加（1億9千4百万円）であります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は79億7千9百万円と、前連結会計年度末と比べて4億9千7百万円増加しました。主な増減項目は、短期借入金の増加（5億8千8百万円）、支払手形及び買掛金の減少（1億3千9百万円）であります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は59億4千2百万円と、前連結会計年度末と比べて6億7百万円増加しました。主な増減項目は、利益剰余金の増加（3億4千7百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（2億6千5百万円）であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に開示いたしました通期連結・個別予想値の変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が65,794千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,030,165	1,808,802
受取手形及び売掛金	1,666,121	1,582,725
電子記録債権	140,802	235,042
商品及び製品	504,294	618,393
仕掛品	1,018,355	1,212,879
原材料及び貯蔵品	42,500	72,784
その他	314,954	688,930
貸倒引当金	△5,812	△6,056
流動資産合計	5,711,382	6,213,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,599,271	2,773,726
機械装置及び運搬具(純額)	1,453,943	1,850,855
その他(純額)	1,108,605	762,776
有形固定資産合計	5,161,820	5,387,357
無形固定資産	286,792	249,925
投資その他の資産		
投資有価証券	1,636,572	2,048,818
その他	19,690	21,792
投資その他の資産合計	1,656,262	2,070,610
固定資産合計	7,104,875	7,707,894
資産合計	12,816,258	13,921,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,229,996	1,090,676
短期借入金	1,844,830	2,433,720
未払法人税等	84,937	260,432
賞与引当金	141,718	80,327
その他	1,309,411	1,153,022
流動負債合計	4,610,893	5,018,179
固定負債		
長期借入金	237,000	236,750
役員退職慰労引当金	106,570	108,685
環境対策引当金	5,907	5,907
退職給付に係る負債	1,370,320	1,346,295
その他	1,151,235	1,263,294
固定負債合計	2,871,034	2,960,934
負債合計	7,481,927	7,979,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	49,674	49,674
利益剰余金	4,064,285	4,411,409
自己株式	△296,126	△296,550
株主資本合計	4,317,834	4,664,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	740,180	1,006,141
為替換算調整勘定	157,485	195,441
退職給付に係る調整累計額	△2,363	△6,754
その他の包括利益累計額合計	895,302	1,194,828
少数株主持分	121,193	82,921
純資産合計	5,334,330	5,942,283
負債純資産合計	12,816,258	13,921,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,988,423	7,528,358
売上原価	5,561,293	5,855,574
売上総利益	1,427,130	1,672,783
販売費及び一般管理費	1,065,938	1,131,269
営業利益	361,192	541,514
営業外収益		
受取利息	4,091	5,394
受取配当金	31,926	37,040
為替差益	80,361	156,894
その他	21,370	11,982
営業外収益合計	137,751	211,312
営業外費用		
支払利息	44,966	33,560
その他	7,957	11
営業外費用合計	52,923	33,572
経常利益	446,019	719,254
特別利益		
固定資産売却益	69,335	—
特別利益合計	69,335	—
特別損失		
固定資産除売却損	3,164	569
特別損失合計	3,164	569
税金等調整前四半期純利益	512,191	718,685
法人税等	176,478	262,598
少数株主損益調整前四半期純利益	335,712	456,086
少数株主損失(△)	△11,940	△31,817
四半期純利益	347,653	487,904

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	335,712	456,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,711	265,960
為替換算調整勘定	158,467	31,501
退職給付に係る調整額	—	△4,390
その他の包括利益合計	259,178	293,071
四半期包括利益	594,891	749,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	595,478	787,429
少数株主に係る四半期包括利益	△587	△38,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	667,353	3,257,456	4,521,685	412,421	8,858,916	△1,870,492	6,988,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	667,353	3,257,456	4,521,685	412,421	8,858,916	△1,870,492	6,988,423
セグメント利益(又は損失△)	71,888	129,433	△186,045	372,109	387,385	△26,192	361,192

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△1,870,492千円及びセグメント利益の調整額△26,192千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	598,670	3,400,222	5,870,370	413,797	10,283,060	△2,754,702	7,528,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	598,670	3,400,222	5,870,370	413,797	10,283,060	△2,754,702	7,528,358
セグメント利益(又は損失△)	57,013	173,126	67,054	344,556	641,751	△100,237	541,514

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△2,754,702千円及びセグメント利益の調整額△100,237千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。